

## 第 10 回イラク・ビジネスセミナー

イラクは潜在的ビジネスチャンスの大きさから本邦企業の関心が引き続き高く、中東協力センターは 12 月 3 日（水）、ホテルグランドパレス（飯田橋）において、第 10 回イラク・ビジネスセミナーを開催致しました。

治安、政治他混迷の深いイラクですが、とりわけこの半年の間に大きな動きがありました。今年 6 月、イスラム過激派 ISIS が突如モスル市を占拠し、首都バクダッド近郊に迫るまで勢力を拡大し、その後イスラム国を設立しました。これに対しイラク国軍、ペシュメルガの反抗に加え、8 月以降 米国が重い腰をあげイスラム過激派に対する空爆を開始しました。一方、9 月には旧来のマーリキ首相に代わり アバーディ政権が成立しました。新内閣の成立とイスラム国の一部沈静化もあって、10 月以降 日系企業によるイラクビジネス再開に向けた活動が見られるようになりました。

そのような環境下、今回は当センターのイラク事務所の所長、アリ・ハッソン氏より「イラク経済の現状と今後の展望」を、そして CONTROL RISKS 社の Regional Manager でバクダッドに常駐のジェームス・サール氏からは「目下のイラク情勢、治安情報」についてご講演いただきました。

当センターからは、イラク経済の抱える課題と挑戦、対イラク投資の優位性、セクター別の優先順位、今後の電力・エネルギー事情、イラク統合国家エネルギー政策（INES）、2014 年からの主要政策の骨子、等広範にご紹介させていただき、CONTROL RISKS 社からは、イラク政府の状況、治安の概要、地域別の治安状況、ビジネスに向けた挑戦についてご紹介いただきました。

今回も計 53 名の方にご来場いただき、引き続き本邦企業にとってイラクという市場に対する関心の高さを再確認することができました。

今回の二人の講演を通して、イラクの治安は未だ厳しい状況ながら既に底は打ち改善が窺えるとの印象を受けました。当センターは、引き続きビジネスセミナー開催、その他の活動を含め、企業様のビジネス展開に寄与して参りたいと思います。

